

■ 目標値未達成の要因について

法人名 公益財団法人 西成労働福祉センター

{ 1 }

| 成果測定指標             | 単位 | R5年度目標値 | R5年度実績値 | 目標値との差 |
|--------------------|----|---------|---------|--------|
| 雇用条件の向上を図った求人の紹介件数 | 件  | 1,900   | 1,829   | △ 71   |

| 未達成の要因 |  |               |    | 要因分析（要因と考える根拠）   |         |       |       |       |   | 要因分析を踏まえた今後の対応   |  |
|--------|--|---------------|----|--|---------|-------|-------|-------|---|--|--|
| ①      | 母数となる窓口の契約紹介件数が想定32.4%の減少となった影響を受け、「向上を図った求人」の紹介も目標値に達しなかった。 |               |    | <p>・雇用条件が向上するように事業者への働きかけに努めた結果、窓口契約紹介件数の内、「向上を図った求人」の紹介の占める割合は、令和4年度が53.7%に対して、令和5年度は73.1%と上昇し、求職者に求人情報が的確に浸透していることを裏づける結果となった。</p> <p>・ただし、令和5年度の特徴的な傾向として、契約期間中の宿舍での拘束を嫌う労働者が多く、現金就労を優先する傾向があり、窓口現金紹介が増加したため、母数となる窓口契約紹介件数が想定32.4%の減少となり、目標値を達成しなかった。</p> |         |       |       |       |   | <p>・HPの求人情報サイト「センターナビ」や「LINE公式アカウント」を用いて情報発信を行い、就労に不安を抱える求職者に来所を促し、窓口で契約紹介などの就労支援を実施していく。</p> <p>・また、令和6年度は、求職者の声を反映し、雇用条件の向上の要件に「賃金の前貸し」「技能講習受講推進事業所」「刑余者の受け入れ可能」の3項目を加え、窓口での求職相談等を通じて、「向上を図った求人」を積極的に説明し紹介を行う。</p> <p>これらの取組みにより、紹介件数の増加を図る。</p> |  |
|        | 関連項目名  | 窓口(契約)求人の紹介総数 | 単位 | 件  | R5当初想定値 | 3,700 | R5実績値 | 2,502 | 差 |  |  |

■ 目標値未達成の要因について

法人名 公益財団法人 西成労働福祉センター

{ 2 }

| 成果測定指標        | 単位 | R5年度目標値 | R5年度実績値 | 目標値との差  |
|---------------|----|---------|---------|---------|
| 窓口(契約)求人の紹介総数 | 件  | 3,700   | 2,502   | △ 1,198 |

| 未達成の要因                             |  | 要因分析（要因と考える根拠） |    |   |         | 要因分析を踏まえた今後の対応 |       |       |   |
|------------------------------------|--|----------------|----|---|---------|----------------|-------|-------|---|
| ① 労働者が現金就労を優先する傾向があり、窓口現金紹介が増加したため | <p>「窓口(契約)求人の紹介総数」は、求職者が宿舎に住み込む形態の求人内容となっている。</p> <p>・2023年度の建設投資額は2022年度比で2.2%増とほぼ横ばいの予想が出されている中、重層下請け構造の末端の事業所が多い、センターの登録事業所の調査では、物価高騰等により、仕事量については、前年を下回る傾向が確認されている。また、人手不足は深刻で、仕事量を増やしたくとも増やせず、確保できる量に合わせて仕事量を調整しているという傾向が慢性的に続いている。そうした中、窓口での紹介票交付数は、ほぼ横ばいの状況となっている。</p> <p>・令和5年度の特徴的な傾向として、契約期間中の宿舎での拘束を嫌う労働者の中には現金就労を優先する傾向がある。また、近年、コロナ禍おける生活福祉資金を活用後、生活保護に移行した日雇労働者が多数存在しており、求職者が宿舎を必要としない現金紹介求人に流れる状況に変化が続いている。</p> <p>そのような要因から窓口の現金紹介が想定11.6%の増加となった一方で、窓口の契約紹介は想定32.4%の減少となった。</p> |                |    |   |         |                |       |       |   |
|                                    | 関連項目名  | 窓口(契約)求人の紹介総数  | 単位 | 件 | R5当初想定値 | 3,700          | R5実績値 | 2,502 | 差 |

・これまで開拓した求人について、賃金の支払方法や雇用期間、就業時間の短縮化など求人の内容を充実させていき、求人情報のみならず、企業の雰囲気や社長・先輩社員の人柄、宿舎の部屋や食事、Wi-Fi環境など求人の内容に関連した情報も収集し充実させていく。

・また、HPの求人情報サイト「センターナビ」や「LINE公式アカウント」を見た求職者で、就労に不安を抱えるには来所を促し、窓口紹介につなげるように努める。

・窓口では、就労のために必要な最低限の知識の伝達や就労方法の周知、作業着などの必要な物品の支給など、就労につなげるための支援を実施していく。

・求人情報の提供の強化が求職者の来所を促進する相乗効果となるよう取り組み、窓口紹介の目標値の達成を目指す。

■ 目標値未達成の要因について

法人名 公益財団法人 西成労働福祉センター

{ 3 }

| 成果測定指標             | 単位 | R5年度目標値 | R5年度実績値 | 目標値との差 |
|--------------------|----|---------|---------|--------|
| 補助金比率の削減（補助金／経常収益） | %  | 85.0    | 86.5    | 1.5    |

| 未達成の要因    |  | 要因分析（要因と考える根拠）   |    |    |         | 要因分析を踏まえた今後の対応 |       |        |   |          |
|-----------|--|--|----|----|---------|----------------|-------|--------|---|----------|
| ① 委託収益の減少 | <p>・技能講習委託費（10,855千円減）<br/>                     技能講習事業において、令和5年度は、急な仕事で受講辞退がないように就労状況を詳しく聞き取り、受講の念押しを行い、前年度より受講率は10.54%増加し、当初予算と委託収益の差額は4,748千円減少した。</p> <p>○令和4年度 受講計画数400人 受講実績数257人 受講率64.25%<br/>                     当初予算（53,918千円）と委託収益（38,453千円）の差額△15,465千円</p> <p>○令和5年度 受講計画数365人 受講実績数273人 受講率74.79%<br/>                     当初予算（50,633千円）と委託収益（39,778千円）の差額△10,855千円</p> <p>受講率は改善したものの、受講者実績数が273人と、計画の25.2%減少となったため、当初予算で計上していた収益より10,855千円の減少となり、目標を達成できなかった。</p> <p>R5補助金（予算）／R5経常収益（想定）<br/>                     302,594千円／357,838千円<br/>                     R5補助金（実績）／R5経常収益（実績）<br/>                     279,583千円／322,863千円</p> |  |    |    |         |                |       |        |   |          |
|           | 関連項目名  | 委託収益   | 単位 | 千円 | R5当初想定値 | 50,633         | R5実績値 | 39,778 | 差 | △ 10,855 |
|           |  | <p>・令和5年度までは、平日に窓口まで受講申し込みに来れなかった受講希望者のために、各月の第3土曜日に窓口を開けて受付を行っていたが、「窓口に行く回数を減らして欲しい。」という事業所と労働者のニーズに応えるために、窓口を開けるのではなく、令和6年度は、毎月の第3土曜日は希望のあった事業所に直接出向く「出張受付」を開始し、受講者の増加を図る。</p> |    |    |         |                |       |        |   |          |